

農山村地域で展開する再エネ事業の体制と内容のイメージ

マルチ

↑

↓

シングル

組織	事業や活動の内容
NPO、地域活動組織	食、歴史文化、福祉、子育て、景観、自然環境保全 地域管理、森林整備・保全等、地域課題に取り組む活動の一環としての再エネ事業
旧村単位の地域組織	合併前の郡部旧村などの地域協議会、まちづくり委員会等が検討・実施する収益還元型(地域社会再生・福祉拡充)の再エネ事業
伝統的組織	惣有組織、地縁団体、用水組合、土地改良区、氏子等による入会・コモンズや地域資源管理・活用による再エネ事業
地域経済組織	農協、中小企業、自営的事業者、商工会(あるいは地域金融組織)等による地域経済活性化のための再エネ事業
自治体(行政)	地域課題解決や地域の個人や法人の関心醸成を指向する政策的な再エネ事業

33

再生可能エネルギーの機能

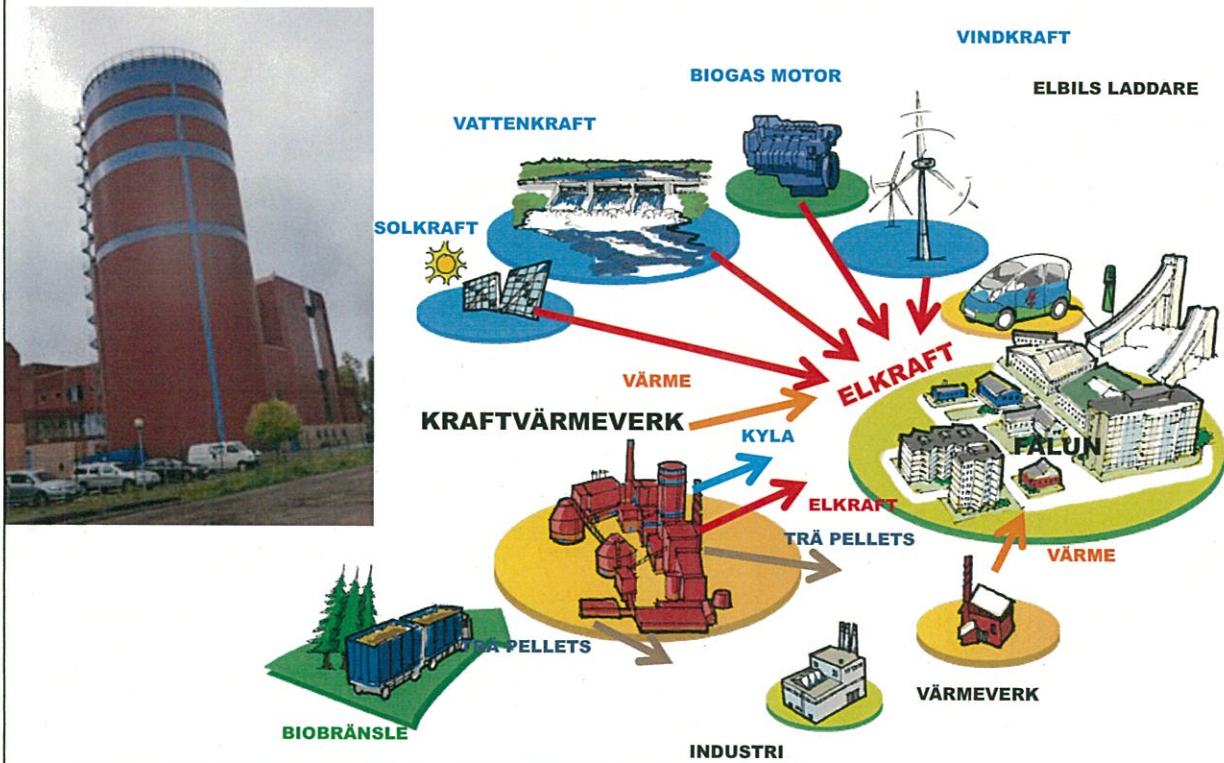
地域主導との相性

- **〈未来のエネルギー〉** エネルギー資源枯渇後のエネルギーとしての利用が期待されている。
- **〈低い環境負荷〉** 現行エネルギーに比較して環境負荷が格段に小さい。
- **〈地域のシステム親和性〉** 「分散型＝地域主導」エネルギーシステムにきわめて親和的である。
- **〈地域主権〉** 地域が主体的・自律的に関われる。
地域性の確立(金太郎飴ではない国土)

34

Falu Energi & vattens 100 %
Förnyelsebara energiproduktion

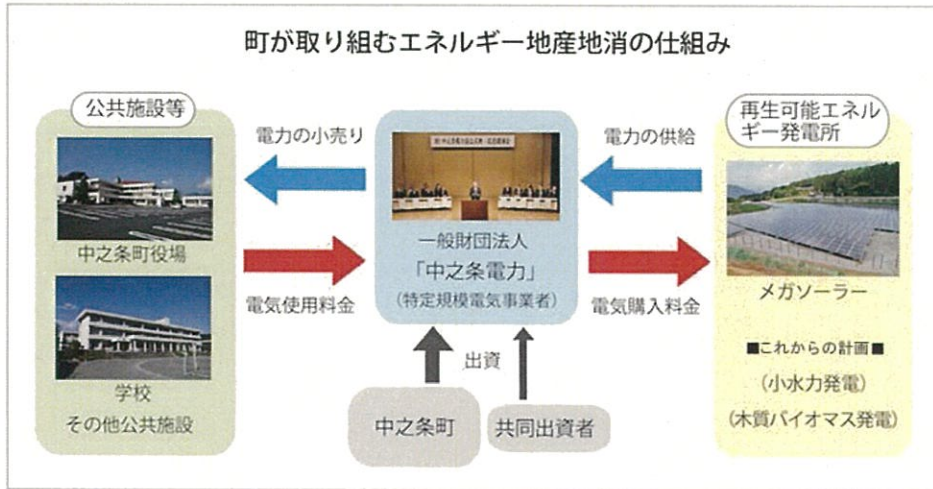
地域エネルギーの事例



「地域エネルギーという取り組み」

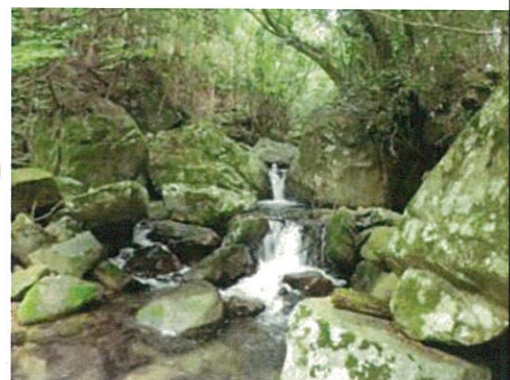
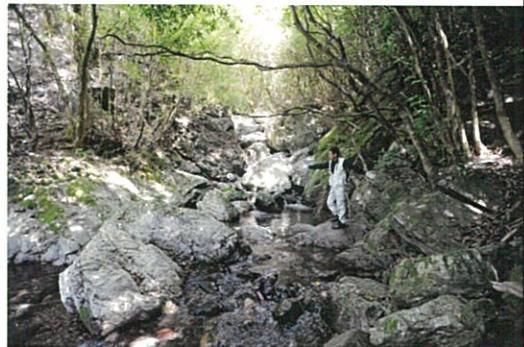
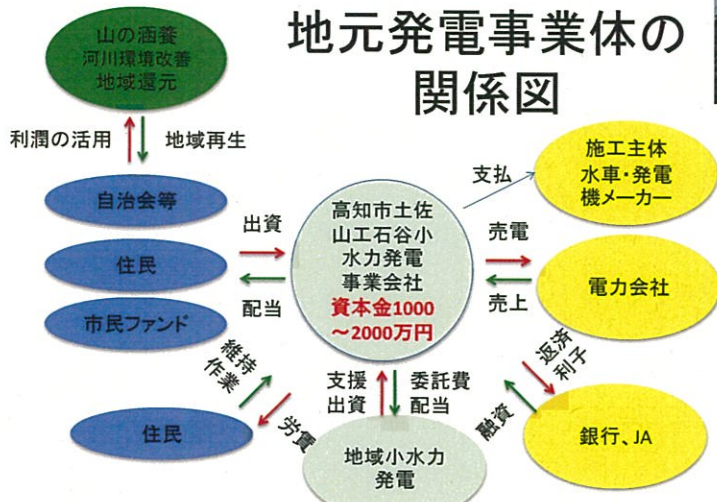
中之条電力 ～自治体中心の新電力として全国初～

- 地域の資源を活用し、メガソーラー、小水力、木質バイオマス発電により、エネルギー地産地消を推進する計画。
- 群馬県は水力発電調査費補助等や技術支援により取組を後押ししている。
- 接続制限の影響を受けており、早期の解決が期待される。



36

高知の取り組み



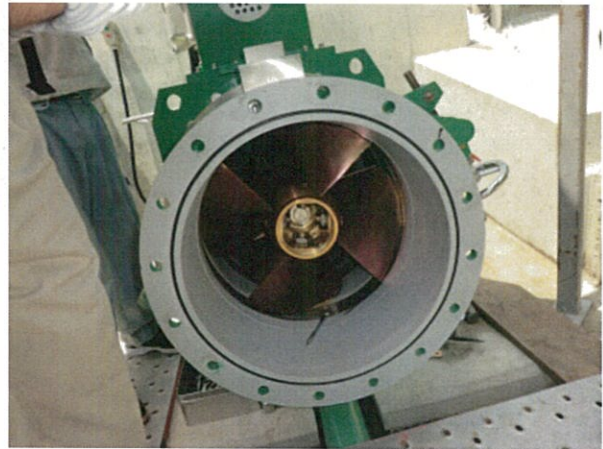
2013.12.15

地域小水力発電株式会社

16

地域小水力発電株式会社 代表取締役 古谷氏資料

地域産業を取り込む…大分



38

地元企業が中心の再エネ事業 低温バイナリ発電(別府)



39

地産エネルギーは、地域のためになるか？

地域再生の新たな意義や価値 ← 認知, 共感, 賛同と敬意の拡大

・ 地域性・独自性の確立 / 意識の醸成 / 人材の充実と育成

- ・ 都市農村交流の上下関係からの脱却
- ・ 需要者の共感と理解, さらに憧れ, 敬意
 - エネルギーは必要不可欠な商品
 - どこで, 誰が, どのようにつくられているかへの関心
 - 生産地への理解と商品への共感
- ・ 需要者と生産者の対等以上の関係
 - メーカーに共感する消費者の関係
 - 生産(者・地)に対する共感, 憧れ(生産地のファン)

消費の辺境からの脱却 →

守るべき生産地としての地位と
生産環境管理者の確立・敬意

40

おわりに

未来のエネルギーは？

- 18世紀以前の再生可能エネルギー社会(数万kJ/人日)と18世紀以降の化石燃料エネルギー社会(石油の20世紀, 30万kJ/人日)
- 再エネによる化石燃料エネルギーの代替は可能か? 中世で, 近代を完全代替することはむずかしい?
- 化石燃料は, あと数10年~200年?
- 新しいしくみの社会ができるまでには, 50~100年。

ではどうする？

さまざまなエネルギーを効率的に使い,
それぞれに適した生産, 利用を行う。

石油, 石炭, 天然ガス

太陽光, 太陽熱, バイオマス, 風力
水力, 地熱・地中熱, 海流・潮力

地産, 分散型需給, 省エネ,
コジェネ, 高機能建物

単位(PJ)	2012	2020	2050
一次エネ	1,421	1,100	706
国内再エネ	429	484	706
%	30	44	100

41

将来は、何の時代？

2050に50%は、世界の目標、未来の準備には30~50年が必要

